
生徒会の森

Ichi-1

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

生徒会の森

【Nコード】

N7146S

【作者名】

I c h i - 1

【あらすじ】

王森学園生徒会の会計 柏羽聖は悩んでいた。

この物語にあらすじなどあるのか？と。

とりあえず麗しの生徒会長小咲犬の野望を叶えるために俺たちが奮闘する物語だ

ということにしておこう。

5月13日 前編

「世界最強の座に君臨したいなあ」

旅立ちの動機としては、使い古された発言をしたのは

我らが大森学園の生徒会長、小咲こさき 犬けんだ。

愛称はわんちゃんわんちゃんで名前負けしない愛くるしい目をした、
高等部一年だ。一年で生徒会長というには、さして珍しいことでも
ない。

大森学園は、小、中、高と一貫のため、小、中の実績で高一で
会長に任命されるといふのは、過去にもいくつか例がある。

まあ、俺こと柏羽かしわは 聖役職せいやくしき、会計 高等部三年（留年 一）は
新会長の実力を全く知らない。まだ五月半ばだし。

名前くらいは知っていたが、運動会で毎年転んでたからな。
ギヤーギヤーうるさい印象もあった。

去年は家の都合でほとんど学園には来てないので、その間のことは
わからん。

わからんが会長に選ばれるほどの活躍をしたとは思えん。

つまり何が言いたいかというと、会計 柏羽は疑ってるわけだ。

この わんちゃん が会長の器であるかどうかをな。

おもしろがって立候補し、おもしろがって友人が投票する。

そんなバカなこともあり得るわけだ。前例もある。

こいつは友達が多いようだしな。

わんちゃんは以前にも今回のような発言をしている。

最初は場を和ませるために言っているのかと好意的な解釈をしてい
たが

どうやら違っらしい。

会長が無能だと苦勞するのは俺たち役員だ。

はあ、と呆れた気持ちきもちを溜息ためいきとして吐き出す。

長机の奥を見ると、書記の花村はなむら 草介そうすけがノートに何か書いている。

俺は席を立ち花村君のもとへと歩き出す。

後ろからノートを覗くと、そこにはこう書いてあった。

犬 「世界最強の座に君臨したいなあ」

羽 「はあ」 溜息。留年はやることが違う（笑）

……。数秒、沈黙。

いろいろツツコミたい。どこからツツコミべきか。

決めた。これにしよう。うん。

羽こと俺、柏羽は息を吸いこむ。

そして、吐き出すように……。

「おまえは、花と草どっちだ？」

（。。。。） でもいいこと聞いたあ！

「そんなことメモんじゃねえよ」とか

「留年だからつてばかにすんな」とか

他に言うべきことはあつたら、羽！

律儀に花または草は軽くイスを引き、俺の方を向く。

「村です。」

……………ええー。

それはないわあー 留年生、羽は村（笑）を憐れみの目で見る。

この感想は会長も一緒だつたらしく、

「なんで一人だけ集合体なの！」

と立ち上がりながらツツコンだ、そのツツコミはどうなんだ？

「今すぐに花にするよーに。」

なんつー会長命令だ。

花村君も渋った顔で「わかりましたー」とか言いながら、村を花に

書きかえてんじゃねえーよ。何をリライトしてんだ。

「ちなみにあたしは何なのかな？」

ずっとポ リを飲むだけで今日は沈黙を保っていた

マイエンジェル副会長 野ノ宮・L・沙海

ののみや・りゅうア・しゃみ

は、俺の胸を射抜く緑色の目（名前でわかる通り、外国の血が入ってる。クォーターらしい。そのため緑色なのだ！。と、思ったその君い！違う！マイエンジェルはそんな単純ではない！彼女の目の本来の色は澄んだ黒！緑色なのはカラーコンタクトのため！
と、ういのがマイ設定だ。）

で、こつちを見た！俺を見てる！

「ちなみに、あたしは、なんなの、かな？」

脳内音声フォルダに、音質最高で保存。

…かわいい！今日のマイエンジェルもかわいいぞ！

特に最後の「かな？」は今世紀トップ10のかわいさだ。

私的には1〜100位までシャミたんて埋め尽くされているがな。

今日も副会長は素敵である。という変わらない事実を確認したあと花（新）の地味な声を聞かされる。

「L、です。」

「私はLです。つてか？」

いまの「てか？」聞きました？超可愛いくないですか？

これも脳内フォルダに保存。

「なんか物語中盤で死にそうだよ！今すぐKにするように。」

「議事ノートをデ ノートにすんじゃねえよ！フルネームじゃないから死なないけどね！」

「しかもあたしの名前入ってないし。」
ん？

今マイエンジェルとコンボがつながったぞ！

「会長の命令とはいえ聞けません。」

チクショー花は黙っとけよ。

俺とシャミたんの思い出を汚すんじゃねえーよ。

花のセリフはカット、と。

カリカリ…

草介くんが何か書いてるぞ。

内容はわかりきっているが。

羽「議事ノートをデ ノートにすんじゃねえよ！フルネームじゃないから死なないけどね！」 留年生（笑）マンガ読んでる暇あったら勉強しろks

「このふいんき（ なぜか変換できない）イケメンがー！」

「ふいんき、じゃなくて雰囲ふんいき気ね。留年生さん。」

罵りキタ

y||・（。。）・

ン！！

シャミさんに罵られた！ヤツタ！やったぞ！

こいつがMに目醒める瞬間か…。

親父がハマるわけだ！

（なんで嬉しそうな顔してるの…？）

なにやら不思議そうな顔でシャミたんが俺を見てる。

探るようにジー…っと。

自然と見つめ合う形になるわけだ。

…この時間が永遠でありますように。

「話を戻すけど、僕は世界最強の座に君臨したいんだよ。」

みんな席についてーという仕草をする。

シャミたんは行ってしまった。

ダメ会長め、恨むぞ。

5月13日 前編（後書き）

初投稿です。

ここまで読んでくださりありがとうございました。

感想があれば一言、お願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7146s/>

生徒会の森

2011年4月26日16時52分発行